



進む 企業立地・誘致

GLPが整備する大型物流施設の完成イメージ。右側が今回建設する2棟目。交通アクセスが良く、災害リスクが低い点から1棟目の利用は好調となっている

市内に生産・物流の拠点となる大型施設の建設が進んでいます。

GLPが大型物流施設 2棟目を建設

岡山総社インターチェンジ流通センターに、物流施設開発のグローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社（GLP、東京都港区）が11月11日、2棟目の大型物流施設の整備に着手しました。

同流通センターを運営する両備ホールディングス株式会社（岡山市）が、1棟目に隣接する区画に、プレキャストコンクリート造5階建てのマルチテナント型の物流施設（延床面積7万8100㎡）を平成27年10月を目途に建設。完成後G



11月11日に建設予定地で行われた起工式で、穿初をする帖佐GLP社長と松田両備ホールディングス社長（写真右から）

大黒天物産 「中国物流RMセンター」建設順調

国内で87の物流施設を運営しています。

GLPは、アジアとブラジルで物流施設開発を展開するグローバル・ロジスティック・プロパティーズ・リミテッド（シンガポール）の日本法人。

「中国物流RMセンター」は、中原市内のユニチカ跡地に、7月から大黒天物産株式会社（倉敷市）が建設している「中国物流RMセンター」。

平成27年10月操業開始を目指し、工事が順調に進んでいます。

現在姿が見え始めて



建設工が進む大黒天物産株式会社の「中国物流RMセンター」

LPに売却します。バックアップ電源や最新鋭の免震構造を備え、災害時でも事業継続を可能にします。総工費は約96億円。テナントは現在募集しています。

GLPの帖佐義之代表取締役社長は、「関西圏と中国地方の重要な物流拠点になる」とコメントしました。

GLPは、アジアとブラジルで物流施設開発を展開するグローバル・ロジスティック・プロパティーズ・リミテッド（シンガポール）の日本法人。

新規雇用者は260人程度となる見込み。12月から採用が始まる計画です。

同社は、ディスカウンドストアの「ディオ」「ラ・ムー」など、西日本を中心に104店舗を展開しています。

いるのは食品加工施設（延床面積1万6307㎡）。さらにこの南側に物流倉庫（延床面積2万2068㎡）が併設され、加工食品や生鮮食品などの生産・物流拠点となります。

青山学院大学と総社市との連携協力に関する協定

昭和 地域 英語特区で連携

青山学院大学と総社市との連携 協定締結式



署名を終え、協定書を手に固い握手を交わす仙波学長と片岡市長（写真左から）

市と青山学院大学は、10月14日、青山学院大学と総社市との連携協力に関する協定（包括協定）を市役所で締結しました。

締結式では、片岡市長と仙波憲一青山学院大学学長が協定書に署名。市と大学が教育やまちづくりをはじめ、さまざまな分野で組織的に連携し、相互に協力することが約束されました。

式で片岡市長は、「これからの自治体のテーマは人を育てるための投資。この協定をもとに人を育てることに全力を注ぎたい」と、世界で通用する人材を育成する大卒との連携に意欲を示しました。仙波学長は、同大学が都会型で、学生の8割が関東圏出身だと紹介。「地



維新小学校の児童と英語を使ってカードゲームをする仙波学長（写真右）

域での経験が多様性のある人を育てる。学生が社会にどのように貢献できるか自ら体験し、学びに結びつけてほしい」と、総社市との交流に期待を述べました。

仙波学長は、「英語を契機に学生の能力が生かせるのでは」と、市が実施している「英語特区」に着目。昭和地域で英語特区教育を行っている維新小学校で授業を視察し、連携協力の参考にしていました。市では、英語特区の子どもはもちろんのこと、市全体の子どもの英語力の底上げにつながるべきと考えています。



青山学院大学

沿革 青山学院の歴史は、米国メソジスト監督教会が日本に派遣した宣教師によって創設された3つの学校、1874年にドーラ・E・スクーンメーカー女史によって麻布に開校された「女子小学校」、1878年にジュリアス・ソーパー博士によって築地に開校された「耕教学舎」、そして1879年にロバート・S・マクレイ博士によって横浜に開校された「美會神学校」をその源流とする。

青山学院大学は、この青山学院を母体とし、1949年に新制大学として開設され、2014年には開学65周年を迎えている。

理念（抜粋） 地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。

学部 9学部（文学部、教育人間科学部、経済学部、法学部、経営学部、国際政治経済学部、総合文化政策学部、理工学部、社会情報学部）

キャンパス 青山キャンパス（東京都渋谷区）、相模原キャンパス（神奈川県相模原市）

問い合わせ 企画課企画調整係（☎028213）